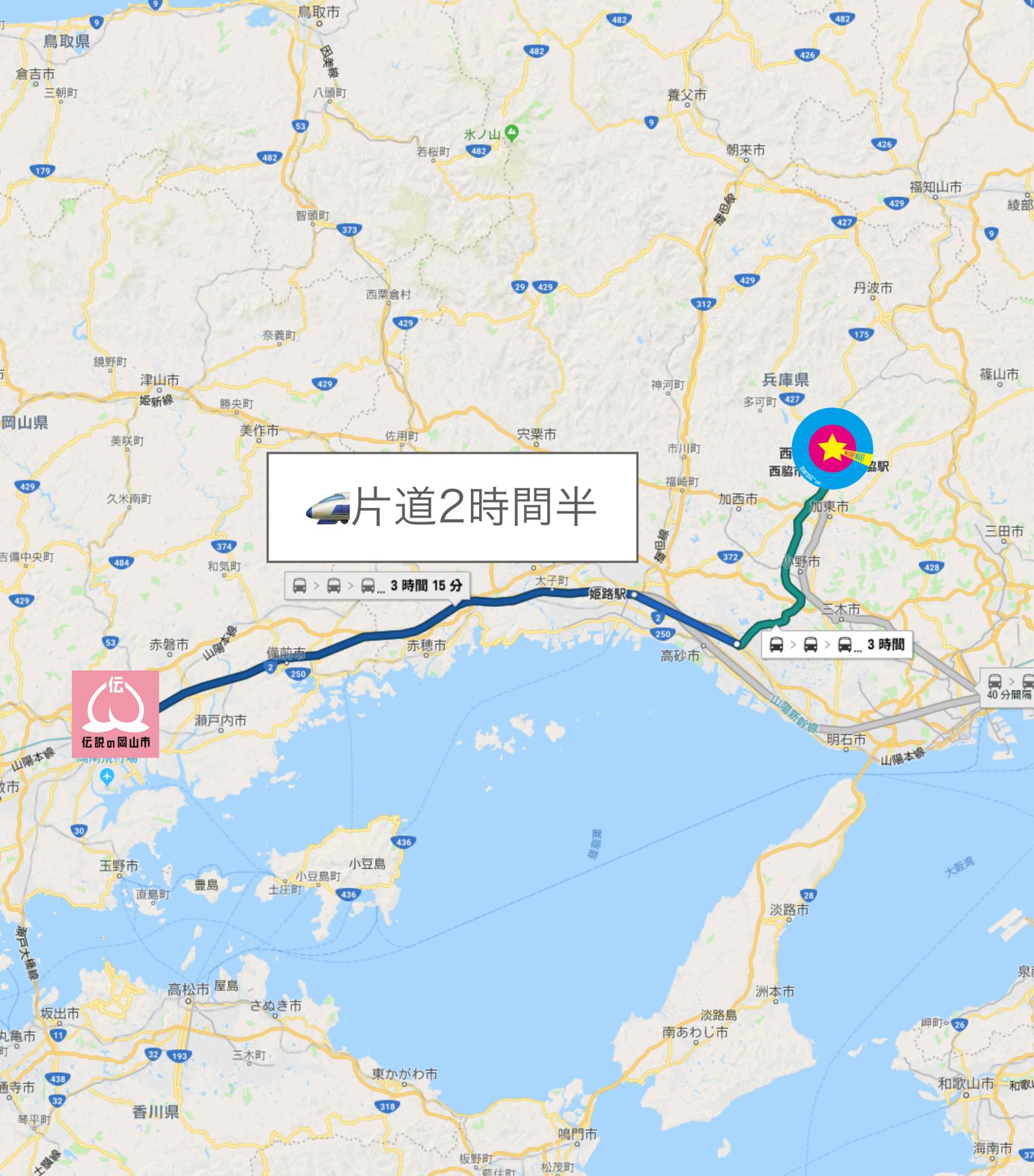




したたか？天然？なんかうまくやってる
ITエンジニアの生存戦略

株式会社ソニックガーデン プログラマ 伊藤 淳一



自己紹介

- ▶ 伊藤 淳一
- ▶ 株式会社ソニックガーデン
- ▶ Railsプログラマ
- ▶ 1977年 大阪生まれ、大阪育ち
- ▶ 兵庫県西脇市在住
- ▶ 家族：妻、長男（中1）、長女（小4）
- ▶ 音楽好き、ギター好き
- ▶ Twitter：@jnchito
- ▶ Blog：give IT a try



発表のテーマ

したたか？天然？なんかうまくやってるITエンジニアの生存戦略

もともとミュージシャンになりたくて就職する気などさらさらなかった私が、なぜかプログラマーになり、14~15年経って田舎でリモートワークしたり、Rubyの本を執筆したりするようになりました。

そういえば私は今年で41歳になりますが、「35歳定年説？ああ、そんな言葉もあったねー」というぐらい、今でも現場でコードを書き続けています。

そんな私に明確な生存戦略はあったのでしょうか？

「ふと気づいたらこうなっていた」というのが率直な感想ですが、もしかしたら気づかぬうちにしたたかな生存戦略を遂行してきたのかもしれない。

私のITエンジニアとしてのキャリアをふりかえりながら、一緒に「伊藤さんの生存戦略」を考察してみましよう。

なんかうまくやってる

ITエンジニア？

なんかうまくやってるITエンジニア？

- ▶ 40歳だけど、バリバリコードを書いています
 - ▶ 35歳定年説を打ち破った！
- ▶ 自宅で働くリモートワーカーです
 - ▶ 通勤時間ゼロ
 - ▶ 素敵な開発環境（いいマシンとか、いい椅子とか、いいキーボードとか）
- ▶ 田舎暮らし最高
 - ▶ 家が広々、楽器も弾き放題
 - ▶ 自然に囲まれながらプログラミング



仕事場とか家の周りとか

プロを目指す人

「言語仕様からテスト駆動開発・
デバッグ技法まで」

のための

Introduction to Ruby programming
for future professionals

Ruby

伊藤 淳一 [著]

入門

Railsをやる前に、Rubyを知ろう

みなさんが「Rubyをちゃんと理解している Rails プログラマ」になれるように、Rubyの基礎知識から実践的な開発テクニックまで、丁寧に解説します。

原稿を読んでいる「ああ、人の気持ちが変わるとはこういうことなんだなあ」と何度も感じました。

本を書きました

「プロを目指す人のためのRuby入門」

- ▶ B5変形判・472ページ / 電子版
- ▶ 本体 2,980円 + 税
- ▶ 技術評論社
- ▶ 発売日 2017年11月25日
- ▶ 好評発売中！

こんな方にオススメ！

- ▶ 他の言語の経験者
- ▶ RubyよりもRailsから先に始めた人

受付で立ち読み
できます！



2018年5月時点のステータス（戦闘力？）

ユーザーランキング 週間 月間 全て

順位	ユーザー名	貢献数
1位	daichi hiroki @hirokidaichi	37422 Contributions
2位	Junichi Ito @jnchito	36572 Contributions
3位	@icoxfog417	30013 Contributions

Qiitaランキング 2位



Junichi Ito (伊藤淳一)
@jnchito

Tweets	Following	Followers
17.3K	342	4,302

フォロワー 約4300人

読者

1314 人



ブログ読者数 約1300人

社外活動（副業とも言う）

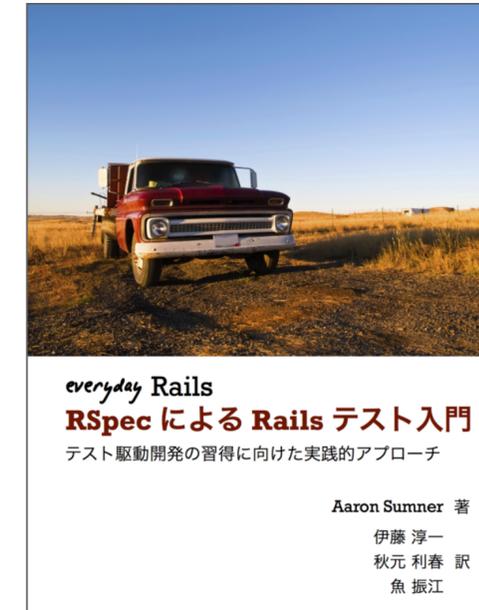
- ▶ 電子書籍の翻訳

- ▶ 「Everyday Rails - RSpecによるRailsテスト入門」

- ▶ Software Design誌への寄稿

また載るかも？

- ▶ 2016年10月号、2016年7月号、2016年4月号、etc

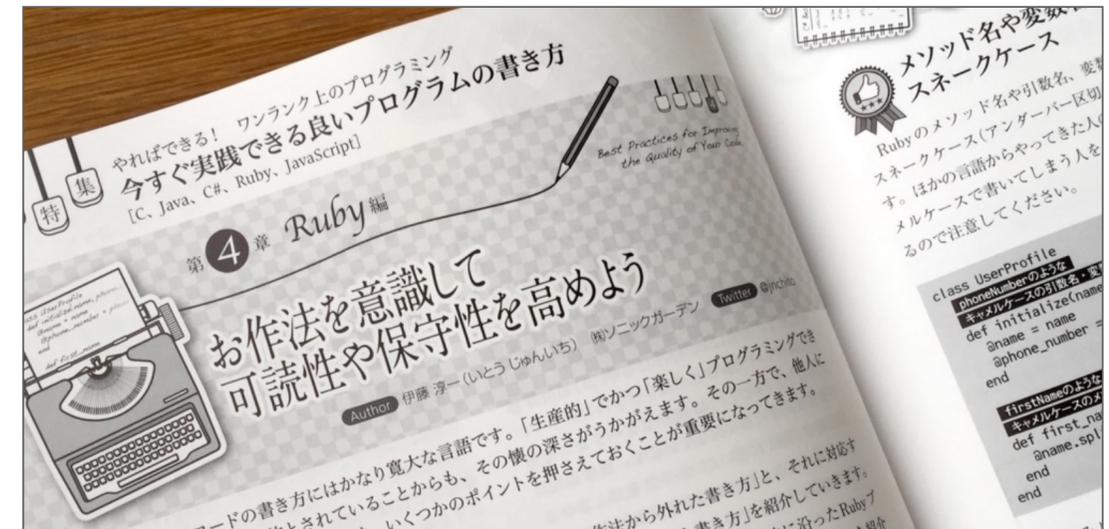


- ▶ IT系イベントや勉強会への登壇

- ▶ Rails Developers Meetup 2017

- ▶ 関西Ruby会議2017

- ▶ **オープンセミナー2018@岡山** ← NEW!



何はともあれ

今が**グ**ー一番楽しい😊

なんでこうなった？

これまでのキャリア

- ▶ 学生時代～大学卒業後
 - ▶ バンドマン 兼 塾講師 (バイト)
 - ▶ 就職活動をせず、バンドと塾講師をそのまま続ける
- ▶ Sier時代 (2003-2007、25歳-29歳)
 - ▶ プログラミング未経験から中途入社
- ▶ 外資系社内プログラマ時代 (2007-2012、29歳-34歳)
 - ▶ 西脇市内の外資系半導体企業に転職
- ▶ ソニックガーデン時代 (2012-現在、34歳-40歳)
 - ▶ Rubyプログラマに転身

本日のアジェンダ

- ▶ キャリアを振り返る
 - ▶ Sler → 外資系社内プログラマ → ソニックガーデン
- ▶ ○○○を考える
 - ▶ ITエンジニアとしての基本戦略を考える
 - ▶ インターネットやSNSでの活動ポリシーを考える
 - ▶ 「自分を売り込むこと」の大事さを考える
 - ▶ 仕事と家族サービスのバランスを考える
- ▶ まとめ

おことわり

- ▶ 生存バイアスが多分に含まれていることは認めます
 - ▶ 自分でも「あのときは運が良かった」思う瞬間は多々あります
- ▶ 参考：生存バイアスとは
 - ▶ たまたまうまくいってるだけの人が「自分のやり方が正解だ」と勘違いすること
- ▶ 目指すエンジニア像が異なる人には全く役に立たないかもしれません
 - ▶ 「全ての人に共通する”生存戦略”は存在しない」（まつもとゆきひろ）
 - ▶ 考えが合わなければ「へえ、そういう人もいるのね」と優しくスルーしましょう

キャリアを振り返る

Sier時代（2003-2007、25歳-29歳）

- ▶ 消去法でプログラミングの仕事を選択
- ▶ 手に職を付けよう、社外でも通用するスキルを身につけよう
- ▶ 当時最新だったフレームワークやオブジェクト指向プログラミングとの出会い
- ▶ 英語の重要性を体感し、英会話学校に通う
- ▶ 転職を考え始める
 - ▶ 給料安い、ちょっとブラック
 - ▶ 結婚と長男の誕生
 - ▶ 長男の誕生をきっかけに、兵庫県西脇市へ移住



ここで子育てしたい！





参考：僕が生まれ育ったところ



参考：今住んでいるところ

社内プログラマ時代（2007-2012、29歳-34歳）

- ▶ 勢いで妻の実家がある兵庫県西脇市へ移住
- ▶ タイミング良く、近くの外資系半導体企業に転職
- ▶ 年収2倍↑（前職比）、土日出勤ゼロ、残業時間もほとんどなし
 - ▶ 一戸建ての自宅も購入
- ▶ 英語のスキルも業務を通じて自然にアップ
- ▶ 転職を考え始める
 - ▶ 仕事のマンネリ化、マネージャの道に進むかどうか
 - ▶ 半導体業界の不況、沈みゆく船
 - ▶ ソニックガーデンとの出会い

最後の方の話をもっと詳しく

▶ マンネリ化に抵抗する

▶ 「社外で通用するエンジニアか？」 「5年後の自分は大丈夫か？」 と自問

▶ 資格を取る、会社で使わない技術を勉強してみる

▶ Twitterやはてなブックマークで情報収集する、勉強会に参加してみる

▶ ブログを書いて情報発信してみる

▶ ソニックガーデンとの出会い



▶ 僕「この会社面白そう。Rubyやりたい！アジャイル開発してみたい！」

▶ 採用ページ「プログラマを一生の仕事にする」「リモートでもOK」素晴らしい🥰

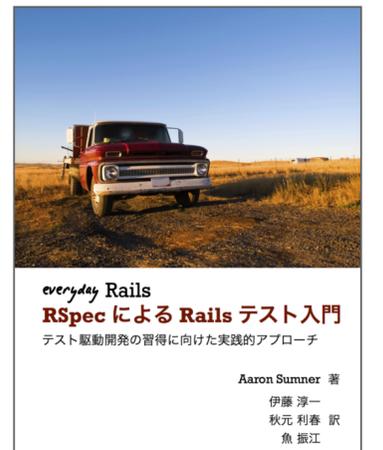
▶ Ruby未経験だけど入りたい！ → ソニックガーデンの門を叩く

ソニックガーデン時代（2012-現在、34歳-40歳）

- ▶ Ruby未経験だったが、なんとか内定ゲット（半年かけて）
- ▶ みんなのスキルが高くて嬉しい！でも「一番の下手くそ」はつらい😞
 - ▶ 追いついたと実感できるまで3年ぐらいかかった
- ▶ リモートワークをスタート
 - ▶ 習い事の送迎や子どもの看病をしながら仕事ができるので助かる
- ▶ 広がる社外活動の幅と知名度アップ
 - ▶ ソニックガーデンや倉貫さんのネームバリューによる部分も大きい
 - ▶ 雑誌の寄稿や本の執筆、イベントへの登壇などはソニックガーデンに入ってから
- ▶ そして現在に至る

ソニックガーデン時代の補足

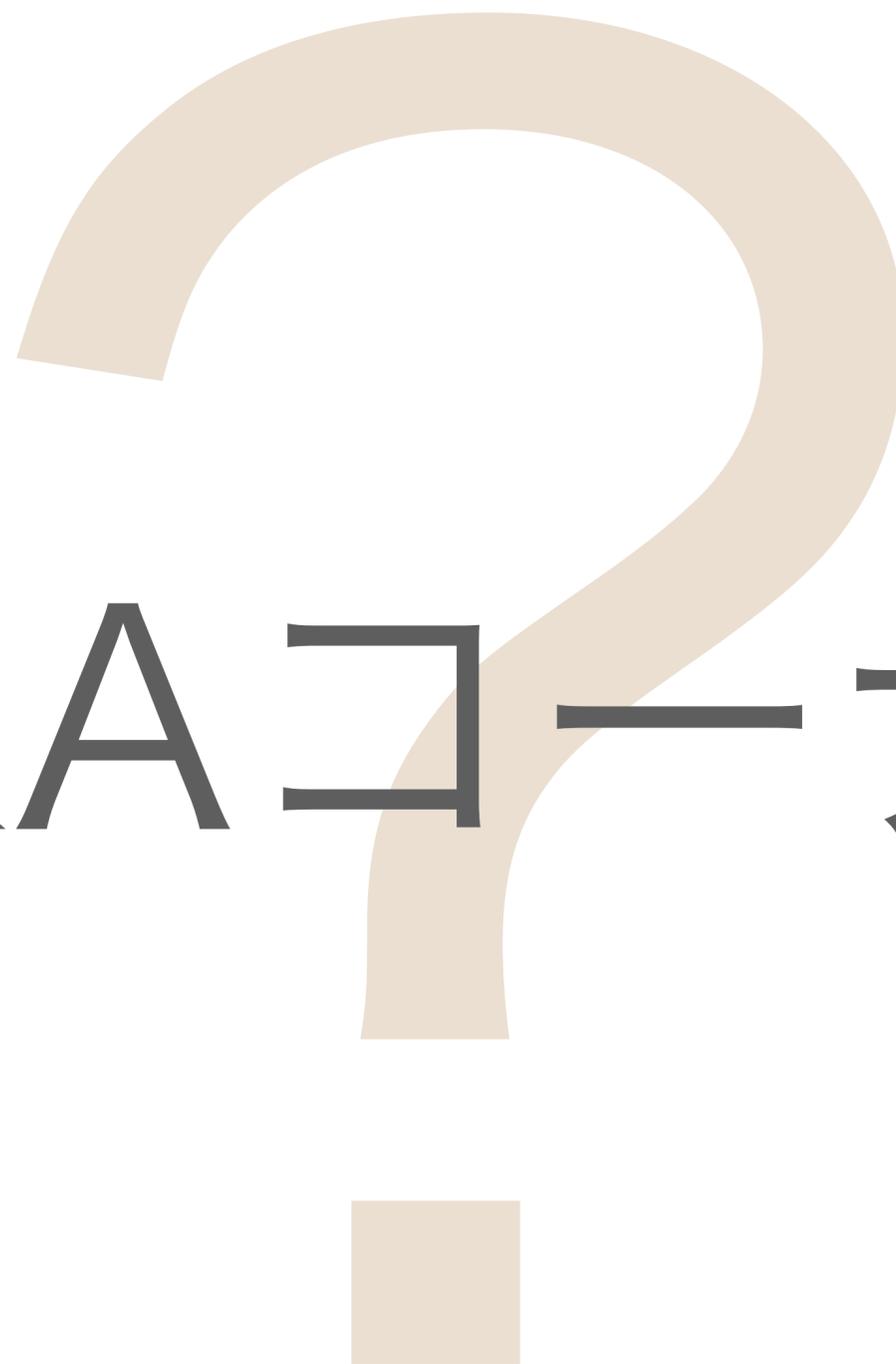
- ▶ なんでRuby未経験なのに入社できたの？
 - ▶ 良いコードの原則はどの言語も同じ + 郷に入れば郷に従え (Rubyのお作法)
 - ▶ こまめに課題の進捗を報告 → 「リモートでも信頼できそう」
 - ▶ ブログを書いていた → 「人となりがわかりやすい」
- ▶ 「一番の下手くそ」からどうやって這い上がったの？
 - ▶ コードを書く/読む、コードレビューを受ける/行う、を毎日続けた
 - ▶ ブログやQiitaに学びをアウトプットすることで、知識が整理された
 - ▶ RSpecの本を翻訳して、RSpecなら任しておけ！と言えるようになった
 - ▶ 先輩社員とのふりかえり (KPT) で仕事の進め方を改善していった



Break...



Q&Aコーナー



事前に質問を募集していたので回答します！

「オープンセミナー2018@岡山」事前質問フォーム

「オープンセミナー2018@岡山」の登壇者・伊藤淳一に何でも聞いてみよう！

***必須**

ITエンジニアとしての生存戦略やキャリア設計、働き方等について、聞いてみたいことや悩んでいることがあれば教えてください。*****

例：「小さな子どもがいるが、勉強時間がなくて困っている」「業界での知名度を上げるにはどうしたらいいか？」 etc

お便り・その1

お悩み

新しい技術や流行の技術はどれぐらいキャッチアップしていますか？

DockerやKubernetesなどのインフラ関係、AngularやReact、Vue.jsなどのフロントエンド関係、**どれを習得するか**の取捨選択が難しく結局どれも中途半端になってしまいます。

背景

サーバサイドのプログラマとして10年程の経験がありますが3年程前にRubyに出会うまではフレームワークはおろかクラスすら使わないレガシーなLAMP環境で開発していました。

Rubyと出会ってから必死に勉強していつてるのですが、**次から次へと出てくる新しい技術、流行の技術に少し疲弊気味**です。

伊藤さんからの回答

- ▶ 僕は意外とレイトアダプター
 - ▶ 定着せずに消えていく技術も多いので、しばらく様子を見るタイプ
 - ▶ それでも新技術の概要や基礎的な概念ぐらいはチェックしている
- ▶ (興味がある or 必然性がある) 技術でなければ、無理しなくてもいいのでは？
 - ▶ 僕の場合、「今の仕事をもっと楽にしたい！」が動機になりやすい
- ▶ **「自分が新技術をキャッチアップする理由や目的」を深掘りしてみよう**
 - ▶ そもそも勉強は楽しくあるべき。楽しくないと身に付かない
 - ▶ 新技術の勉強や情報収集が楽しくないのであれば、目的が少しズレているのかも

お便り・その2

お悩み

フリーランスエンジニアとして、高単価で安定的に稼いでいこうと考えていまして、それにあたって、**一つの分野を突き詰めていくべきなのか、守備範囲を広くしていくべきなのか、どうすれば・・・**という事を漠然と感じております。

現状としては、絶対的な武器といったものが無く、**どちらかというと浅く広く（そんなに広くもないですが汗）**という状態なのかなと思います。

また、フロントエンド開発やスマホアプリ開発、Webデザイン等の色々な分野に興味があったりしますが、**少々飽きっぽい**性分だったりもします汗

背景

新卒で入社した会社にてエンジニアとして10年弱ほど勤務。（主にPHP、JavaScriptを扱う。VBAもちよこちょこ）

2016年9月にフリーランスとして開業。Rails案件やPHP案件に参画。

結婚を目前にして、再度会社員に転身するも、肌が合わず半年ほどで退職。（PHP、Swift、Javaをちよこちょこっと）

現在はフリーランスとして客先常駐スタイルでPHP案件に参画中。

今年秋頃に妻の実家（京都府京丹後市）に引っ越し予定で、フルリモートで参画可能な案件を探し中。

伊藤さんからの回答

- ▶ 「スキルに自信はないが、高単価で安定した収入を希望する」はロジカルでない
 - ▶ あなたが求めているものはチートやハック？
 - ▶ 直感的には「特化型エンジニア」の方が良さそうですが
- ▶ **発注する側の視点に立とう**
 - ▶ どんな人だったら高いお金を払いたいか？
 - ▶ どんな人だったら継続的に働いてほしいか？
 - ▶ その中で今の自分に足りない要素は何か？
- ▶ 自分の強みや得意分野は本当にないのか？

お便り・その3

お悩み

2歳の子と父の介護が必要なのですが、母（祖母）に頼りっきりです。

在宅を考えているのですが、スキルに不安があります。

背景

開発歴は15年、言語は.netとphpぐらいです。

伊藤さんからの回答

- ▶ 僕の知人の事例（下記ブログ参照）
 - ▶ 「組み込みエンジニアだってリモートで働ける！西脇市在住のフジワラさんの場合」
- ▶ **まずは今の会社にリモートで働く方法を相談してみよう**
- ▶ どうしてもダメな場合は、徐々にリモートワークの比率を増やしてみてもいい
 - ▶ イチかバチかの賭けに出るのは危険（自ら退路を断たないこと）
 - ▶ まずはリモートで副業をやってみるなど
- ▶ 会社に残るにせよ、転職/独立するにせよ、スキルがあるほどリモートしやすい
 - ▶ 自分の商品価値を高め、「売り手」に回れるような立ち位置を目指す

自分の強み？

自分の商品価値？ 🤔

このあとにヒントが
見つかるかも？

〇〇〇〇を考える

こんな話題を雑多に語っていきます

- ▶ ITエンジニアとしての基本戦略を考える
- ▶ インターネットやSNSでの活動ポリシーを考える
- ▶ 「自分を売り込むこと」の大事さを考える
- ▶ 仕事と家族サービスのバランスを考える

ITエンジニアとしての基本戦略を考える

- ▶ 常に評価の基準を社外に置く
 - ▶ 社外でも通用するスキルが身に付いているか？
 - ▶ 5年後、今の会社がなくなってもやっていけるか？
 - ▶ いざというとき、それを証明できるか？
- ▶ 「自分の好きなこと・嫌いなこと」や、「自分の強みと弱み」を把握する
 - ▶ 好きなことや強みを軸にして、社内でのキャリアや転職先を検討する
- ▶ 自分の強みや得意分野の探し方
 - ▶ ついこだわってしまう / 仕事か趣味かわからない / 適当にやる人を許せない
 - ▶ 上の条件に合致すれば、自分の強みや得意分野である可能性が大

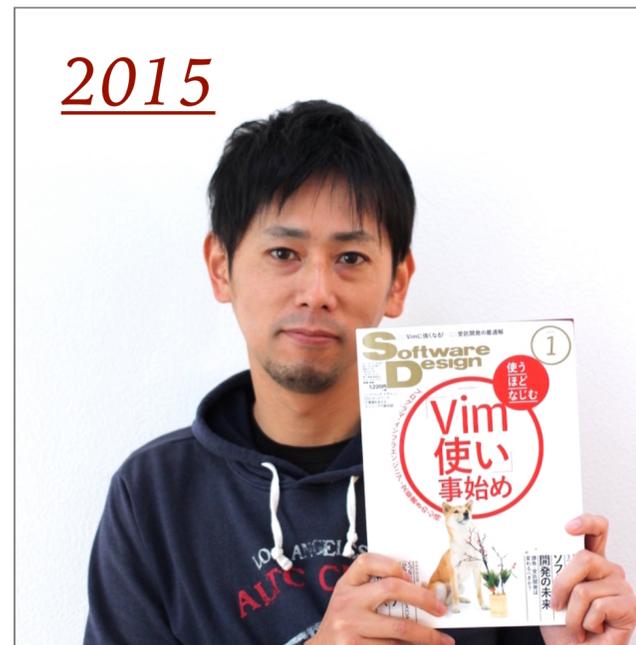
インターネットやSNSでの活動ポリシーを考える

- ▶ WIIFY (ウィッフィー) を意識して発信する
 - ▶ What's in it for you? = それが相手にとって何の役に立つか?
 - ▶ 面白い、役に立ったと思われるように書く、意見や感想を入れる
- ▶ 奪うよりも与える
 - ▶ 「奪う人 (taker) よりも与える人 (giver) が成功する」
- ▶ 相手に役立つ情報を無償で提供する
 - ▶ 情報を提供するほど、たくさん人が集まってくる
 - ▶ 良質な情報を提供している人ほど、信頼される
 - ▶ 与えたものはいつか自分に返ってくる



実例：本を出せたのはブログのおかげ？

- ▶ 2012年 ブログ記事「僕がサクラエディタからVimに乗り換えるまで」がバズる
- ▶ 2015年 編集者さん「あのブログ見ました。記事を書いてもらえませんか？」
- ▶ 2015年～2016年 Software Design誌に寄稿（計4回）
- ▶ 2016年6月 編集者さん「次は本の執筆に興味はありませんか？」
- ▶ 2017年11月「プロを目指す人のためのRuby入門」出版



「自分を売り込むこと」の大事さを考える

▶ Sler時代

▶ オブジェクト指向プログラミングを勉強してます！機会があればやりたいです！

▶ 外資系社内プログラマの入社面接

▶ 今まで200冊以上の技術書を読んできました！（書籍リストとともに）

▶ ブログ上で

▶ こんなことをやります / やりました！

▶ 周りにはあなたが思っているほどあなたのことを見ていないし、気にしてもいない

▶ 「なんでわかってくれないんだ！」 → 🙄

▶ 積極的に「わかってもらおう」 → 🙋

仕事と家族サービスのバランスを考える

▶ 独身時代

▶ お金も時間も使い放題、いくらでも勉強できる

▶ 結婚して子どもが生まれると・・・

▶ 当然、お金と時間は制限される

▶ 子どもからの「遊んで遊んで」攻撃

▶ 仕事と家族、どっちを選ぶ？ → やっぱり家族

▶ 優先順位付けが重要！

▶ スキマ時間をフル活用する、子どもと一緒に寝て、早朝に勉強する

▶ 朗報：子どもが大きくなると、また時間が作りやすくなります！（40歳男性・談）





おとめ

本日も話したこと

- ▶ なんかいいい感じにエンジニアやっています
- ▶ これまでのキャリア
 - ▶ Sler → 外資系社内プログラマ → ソニックガーデン
- ▶ ○○○を考える
 - ▶ 社外でも通用するエンジニアを目指そう
 - ▶ ネット上では奪う人ではなく、与える人になろう
 - ▶ 自分を売り込もう、自分の努力やがんばりに気づいてもらおう
 - ▶ 家族ができたなら限られた時間とお金に優先順位を付けよう

オススメの本やネット記事など

▶ Rubyの父・まつもとゆきひろ氏が語る、若手エンジニアのキャリア論 (TECH::NOTE)

▶ 最初から最後まで同意しかない

▶ SOFT SKILLS (日経BP社)

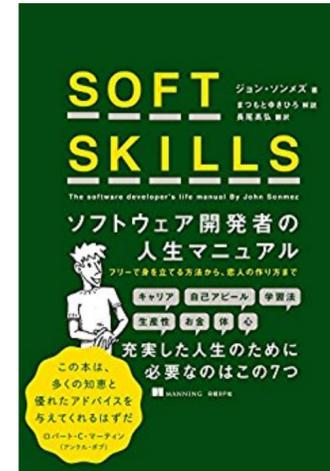
▶ 具体的かつ豊富なアプローチが満載

▶ give IT a try (僕のブログ)

▶ プログラマ向け：自分の強みや得意分野を見つける方法

▶ Ruby未経験だった僕がドヤ顔で偉そうなことを言えるようになるまでの3年間

▶ Sler→社内エンジニア→リモートワーク、3つの職場を経て見えてきた、プログラマにとっての幸せな働き方 (GeekOutブログへの寄稿記事)



発表のテーマ（おさらい）

したたか？天然？なんかうまくやってるITエンジニアの生存戦略

もともとミュージシャンになりたくて就職する気などさらさらなかった私が、なぜかプログラマーになり、14～15年経って田舎でリモートワークしたり、Rubyの本を執筆したりするようになりました。

そういえば私は今年で41歳になりますが、「35歳定年説？ああ、そんな言葉もあったねー」というぐらい、今でも現場でコードを書き続けています。

そんな私に明確な生存戦略はあったのでしょうか？

「ふと気づいたらこうなっていた」というのが率直な感想ですが、もしかしたら気づかぬうちにしたたかな生存戦略を遂行してきたのかもしれない。

私のITエンジニアとしてのキャリアをふりかえりながら、一緒に「伊藤さんの生存戦略」を考察してみましよう。

発表のテーマ（おさらい）

したたか？天然？なんかうまくやってるITエンジニアの生存戦略

もともとミュージシャンになりたくて就職する気などさらさらなかった私が、なぜかプログラマーになり、14～15年経って田舎でリモートワークしたり、Rubyの本を執筆したりするようになりました。

そういえば私は今年で41歳になりますが、「35歳定年説？ああ、そんな言葉もあったねー」というぐらい、今でも現場でコードを書き続けています。

そんな私に明確な生存戦略はあったのでしょうか？

「ふと気づいたらこうなっていた」というのが率直な感想ですが、もしかしたら気づかぬうちにしたたかな生存戦略を遂行してきたのかもしれない。

私のITエンジニアとしてのキャリアをふりかえりながら、**一緒に「伊藤さんの生存戦略」を考察してみましよう。**

そもそも「戦略」って何？

▶ せん-りやく 【戦略】 (デジタル大辞泉より)

1. 戦争に勝つための総合的・長期的な計略

2. 組織などを運営していくについて、将来を見通しての方策。

[補説] 具体的・实际的な「戦術」に対して、より大局的・長期的なものをいう。

▶ 「ナビゲート ビジネス基本用語集」の解説

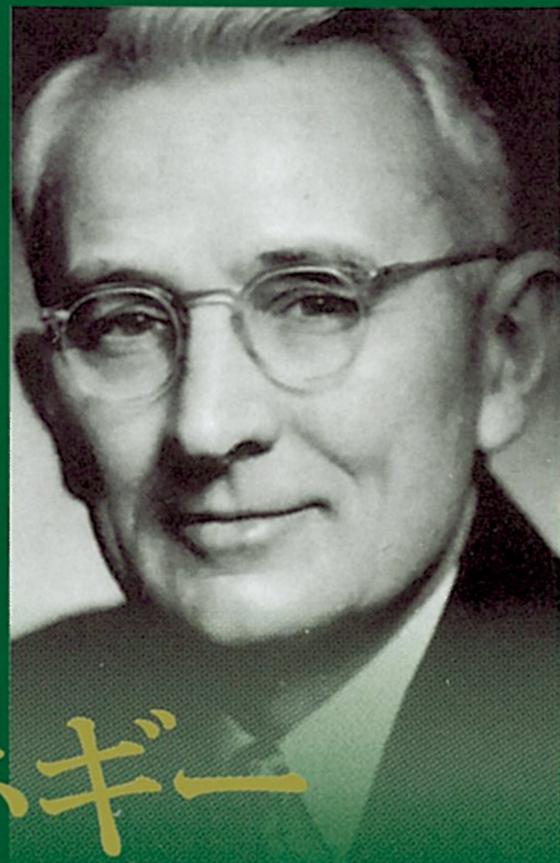
市場に多くの競争相手がいる中で、実際に競争をする以前に有利な状況を作りだしたり、あるいは競争を避けながら有利に展開するための策略。
またはその計画。

長期的な視点から策定され、また戦略が明確になっているほど、効果的で効率のよい経営が可能になる。

伊藤さんの「生存戦略」はあったのか？

- ▶ 改めて考えると「戦略」っぽいもの
 - ▶ 常に評価の基準を社外に置いて勉強する、5年後の自分を想像しながら行動する
 - ▶ ネット上では「与える人」になり、多くの人々の信頼を集める
 - ▶ 他人からの評価を待つのではなく、自分から評価してもらいにいく
- ▶ もう一段メタに（抽象的に）考えると・・・
 - ▶ 主観よりも客観を重視する
 - ▶ 他人から自分はどう見えているか？相手は何を望んでいるか？
 - ▶ 相手にとってプラスになるものを提供すれば、自ずと自分の評価も上がる
 - ▶ 相手にとってのメリットが明確であれば、快く動いてもらえる

HOW TO
WIN
FRIENDS
AND
INFLUENCE
PEOPLE



D・カーネギー

人を動かす

【文庫版】

山口博【訳】

まさに「人を動かす」で
書いてある内容そのもの

まとめのまとめ

- ▶ ITエンジニアと言えど、人との関わりは避けて通れない
- ▶ 自分の目的を達成するためには、自分以外の人にも動いてもらわないといけない
- ▶ そこで必要なのが「客観的な視点」であり、それが「人を動かす力」につながる

- ▶ もちろん、技術者なのだから技術力は大事
- ▶ が、技術スキルの習得は戦略ではなく、戦術に該当するのでは？
- ▶ 僕の戦略は「客観的な視点を**常に**持って、自分に有利な状況を作りだすこと」かも

- ・ ・ ・ そんなことをこのスライドを作りながら考えました

あれっ？ちよつと

したたかだつた……

みなさんの参考に
なれば幸いです

(このスライドも客観的な視点で作りました)

Thank you and follow me!



[@jnchito](https://twitter.com/jnchito)



blog.jnito.com